

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
季節を感じて	絵	4	季節から受けたイメージを絵に表す。	知 季節の感じが出るように色使いや筆使いを工夫しよう。	知 外に出て季節を見たり感じたりすることから、身のまわりにある奥行きや色の鮮やかさを理解している。 季節の感じが出るように色使いや筆使いを工夫して表している。	☆ 見たり触れたりしたことから季節を感じ取り自分のイメージを豊かに広げることから、どのように主題を表すか積極的に考えている。	絵の具、画用紙、水彩用具など
				☆ 思 季節から受けたイメージを大切に、表し方を考えよう。	☆ 思 季節から感じたことをもとに自分のイメージを大切に、どのように主題を表すか考えている。		
				学 季節の感じを味わい、たのしく描こう。	主 季節の感じを味わい、主体的に絵に表そうとしている。		
みんなでたのしく、「ハイ、ポーズ」	立体	2	粘土の可塑性を生かして動き出しそうな人物を立体に表す。	☆ 知 ねじったりひねったりして、動きのあるポーズを工夫しよう。	☆ 知 ねじったりひねったりすることから、立体の動きやバランスを理解している。 粘土をねじったり塊からひねり出したりするなどして、動きのある表し方を工夫している。	☆ 粘土のねじり方やひねり方の違いから生まれる動きやバランスをいろいろと試しながら、自分が表したい形を積極的に工夫して表している。	土粘土、粘土板、粘土べら、タオルなど
				思 動きをとらえ、表したいポーズを考えよう。	思 動きやバランスなどの造形的な特徴をもとに、自分のイメージをもちながら、表したいポーズを考えている。		
				学 粘土の手触りを味わい、たのしく表そう。	主 粘土の手触りを味わい、主体的に動きを表そうとしている。		
形を集めて (形と色でショートチャレンジ)	絵	2	同じ形の大きさや重なりを生かして絵に表す。	☆ 知 形の集め方や並べ方を工夫しよう。	☆ 知 集めたり並べたりすることから、形や色の動き、バランスなどを理解している。 身近にあるものの形を生かし、形の集め方や並べ方を工夫している。	☆ 身近にあるものの形に着目し、集めたり並べたりすることから、形の大きさや重なりをとらえ、形や色の動きやバランスを工夫して表している。	鉛筆、色鉛筆、カラーペン、版画インク、画用紙、版画用紙、消しゴム、版画用具、彫刻刀、ばれんなど
				思 どんな形を集めて、何を表すか考えよう。	思 形や色の動きやバランスをもとに、どんな形を集めて、何を表すか考えている。		
				学 形を集めて表すことをたのしもう。	主 形が集まる面白さを味わい、気に入った表し方を見つけようとしている。		
糸のこの寄り道散歩	工作	8	電動糸のこぎりで板を自由に切り、切った形を組み合わせてつくる。 ※電動糸のこぎりの使い方に慣れる。	☆ 知 板の切り方や組み合わせ方を工夫しよう。	☆ 知 板を自由に切ることを通して生まれた形やその組み合わせの動きや奥行き、バランスを理解している。 電動糸のこぎりの特性を生かし、板の切り方や組み合わせ方を工夫している。	☆ 電動糸のこぎりの特性を十分に生かし、曲線切りなど切り方を工夫するとともに、できた形をいろいろと組み合わせることを通して、動きや奥行き、バランスなどを意識ながら表している。	合板、木工用接着剤、絵の具、電動糸のこぎり、紙やすり、水彩用具など
				思 曲線切りをした板の形から表したいものを考えよう。	思 切った板の形や組み合わせから表したいものを発想し、どのように表すか考えている。		
				学 電動糸のこぎりで板を切ることをたのしもう。	主 電動糸のこぎりで板を自由に切ることをたのしさを味わい、いろいろな組み合わせを試しながら主体的に表そうとしている。		
				☆ 知 人の形を大きくとらえ、動きの表し方を工夫しよう。	☆ 知 自分の体を動かしたり描いたりすることから、人体の形や動きを理解している。	☆ 積極的に体を動かしてみたり、いろいろなポーズをとってみたりすることから、人体の形や動きをとらえて表す	絵の具、カラーペン、コンテ、チョーク、画用紙、画板

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

動きの不思議	絵	2	人の動きをとらえて絵に表す。	知 夫しよう。	知 人の形を大きくとらえ、体の動きの表し方を工夫している。	上天につなけている。	ク、画用紙、色画用紙、水彩用具など
				思 動きをどのように生かすか考えよう。	思 体の動きやバランスなどの特徴をもとに、人をどのように表すか考えている。		
				学 いろいろな表し方で、たくさん描いてたのしもう。	主 たくさん描くことをたのしみながら、主体的にいろいろな表し方をしようとしている。		
見つめる先にあるものは	鑑賞	2	作品を鑑賞し、作者の意図を考える。	知 作品のよさや違いを見つけよう。	知 作品のよさや違いを見つけることから、形や色、描き方など造形的な特徴を理解している。	☆ 作品をじっくりと鑑賞して友達と話し合い、表現の意図や特徴などを多角的に感じ取ったり考えたりすることを通して、自分の見方や考え方を深めている。	作家作品の複写、鉛筆、ワークシートなど
				☆ 思 作品から自分の感じ方を言葉にしよう。	☆ 思 作品鑑賞して、表現の意図や特徴などを感じ取り、自分の言葉で表現している。		
				学 互いの感じ方をたのしんだり、味わったりしよう。	主 気づいたことや感じたことを話し合うことから互いの感じ方の違いを味わい、主体的に鑑賞しようとしている。		
わたしのおすすめ	絵	6	地域のすてきなことやものを絵に描いて伝える。	知 伝えたい気持ちが伝わるように、描き方を工夫しよう。	知 地域にあるすてきなことやことに着目し、描くことを通して、その造形的な特徴を理解している。 伝えたい気持ちが伝わるように、材料や表し方を工夫している。	☆ 自分が生活する地域のよさに目を向け、造形的な表現を通して、見つけた地域のよさを積極的に伝えようとしている。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、画用紙、水彩用具など
				思 地域のものやことなど、表したいことを考えよう。	思 伝えたいことや表したいことから発想し、どのように表すか考えている。		
				☆ 学 地域のよさを伝えることをたのしもう。	☆ 主 地域のよさを伝えることに主体的に取り組もうとしている。		
そっと見てね、ひみつの景色	工作	8	箱の中にそれぞれの世界がのぞけるようにつくり、互いの作品のよさを味わう。	知 材料の使い方を工夫しよう。	知 材料の使い方や組み合わせ方から、空間の奥行きを理解している。 材料の形の大きさや配置の前後など、表したい景色に合わせて表し方を工夫している。	☆ 互いの作品を見ることからその違いやよさに気づき深く味わうとともに、そこから自分の表現の工夫へと積極的につなげていこうとしている。	ふたのついた箱（靴箱など）、軽量紙粘土、身近な材料、はさみ、カッターナイフ、接着剤、絵の具、カラーペン、画用紙、色画用紙、片面段ボール、カッターマットなど
				思 箱の中をどんな場所にするか考えよう。	思 つくることと見ることを繰り返しながら、イメージした景色をどのように表すか考えている。		
				☆ 学 友達との表現の違いを知り、そのよさを味わおう。	☆ 主 互いの表現の違いやよさを味わい、主体的に活動に取り組もうとしている。		
あったらいい町、どんな町	絵	6	あったらいいな、行ってみたいと思う町を想像して絵に表す。	知 形や色の組み合わせを工夫しよう。	知 絵の具やクレヨンを使って想像した町を描くことによって、バランスや色の鮮やかさを理解している。 想像したことに合わせて、これまでの絵の具やクレヨンの経験を生かしながら形や色の組み合わせを工夫している。	☆ 町にあるものや出来事を具体的に想像してイメージを豊かに広げながら、これまでの経験をもとに自分のイメージした町をどのように表していくのか考えている。	絵の具、クレヨン、パス、画用紙、水彩用具、鉛筆など
				☆ 思 想像を膨らませて表したい町を考えよう。	☆ 思 あったらいいなという町の具体的なイメージを想像することから、どのように表すかを考えている。		

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

				学 表したい町を描くことをたのしもう。	主 想像を広げて描くことの喜びを味わい、自分のイメージを積極的に表そうとしている。	
アートカルタ	鑑賞	2	作品をよく見て比べ、形や色など感じたことを味わったり話し合ったりする。	知 作品のよさや違いを見つけよう。	知 作品のよさや違いを見つけることから、形や色、描き方など造形的な特徴を理解している。	☆ 作品をじっくりと鑑賞して友達と話し合い、表現の意図や特徴などを多角的に感じ取ったり考えたりすることを通して、自分の見方や考え方を深めている。 作家作品の複写、画用紙、カラーペンなど
				☆ 思 作品の似ているところや違うところを考え、言葉にしよう。	☆ 思 作品を比べて似ているところや違うところから、表現の意図や特徴などを感じ取っている。	
				学 互いの感じ方をたのしんだり、味わったりしよう。	主 気づいたことや感じたことを話し合うことから互いの感じ方の違いを味わい、主体的に鑑賞しようとしている。	
				知 作品のよさや違いを見つけよう	知 作品のよさや違いを見つけることから、形や色、描き方など造形的	☆ 作品をじっくりと鑑賞して友達と話し合い、表現の意図や特徴などを多角的に感じ取ったり考えたりすることを通して、自分の見方や考え方を深めている。 作家作品の複写、絵の具、鉛筆、カラーペン、画用紙など

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

比べてみよう	鑑賞	2	作品をよく見て比べ、形や色など感じたことを味わったり話し合ったりする。 ※鑑賞として、「小さな美術館」	☆ 思 作品の似ているところや違うところを考えよう。	☆ 思 作品を比べて似ているところや違うところから、表現の意図や特徴などを感じ取っている。	通して、自分の見方や考え方を深めている。	ペン、画用紙、水彩用具など
				学 互いの感じ方をたのしんだり、味わったりしよう。	主 気づいたことや感じたことを話し合うことから互いの感じ方の違いを味わい、主体的に鑑賞しようとしている。		
色を重ねて広がる形	絵	6	彫りと刷りを繰り返してできる彫り進み版画の技法で版に表す。	☆ 知 彫る形や刷る色などを工夫しよう。	☆ 知 版による表現を通して、色の重なりや組み合わせ、形のバランスなどを理解している。	☆ 彫り進みによる表現の効果を考えて、彫り進める形や重ねる色の順番などを工夫している。	版画インク、版画用紙、版木、版画用具、彫刻刀、ばれん、すべり止め、新聞紙など
				思 彫りと刷りの繰り返しから表したいことを考えよう。	思 彫りと刷りの繰り返しから想像を広げ、表したいことを考えている。		
				学 彫り進み版画をたのしもう。	主 彫り進みによる表現の面白さを味わい、主体的に版で表す活動に取り組もうとしている。		